

授業概要（シラバス）入力全学部共通マニュアル

水本匡昭

mizumoto@db.tokushima-u.ac.jp

徳島大学 評価情報分析センター

1 シラバス入力ページ

シラバスの入力作業は、シラバス入力ページから行います。シラバス入力ページから入力・修正する授業を選択し、編集を行います。シラバス入力ページの URL は、<http://studio.db.tokushima-u.ac.jp/syllabus/> となります。ご使用中のウェブブラウザの URL 欄に上記 URL を入力してください。

2 シラバス入力の流れ

シラバスの編集作業を行う前に、「**注意事項*1**」のページにも目を通してください。シラバス入力の基本的な流れは、以下のようになります（図 1 参照）。

1. シラバス入力ページの入り口から、編集したいシラバスの学部・教育部等を探してクリックしてください。
2. シラバス入力にあたっての説明ページが表示されます（学部ごとに表示される内容は異なります）。
3. 説明ページの手順 1 でログインを促す文章が表示されている場合は、「Login」ボタンをクリックして EDB にログインしてください。
4. EDB にログインしていると、手順 1 が「ログイン済み」になっています。この状態で手順 2 の「メニュー画面」をクリックしてください。
5. 「貴方の担当授業科目」「全ての授業科目」のページが表示されます。「貴方の担当授業科目」ではログインしているユーザが担当教員として登録されている授業科目の一覧が表示されます。それ以外にも担当となっている授業科目がある場合は、「全ての授業科目」から学科、コース等を選択し、目的の授業科目を探してください。
6. 編集したい授業科目を決め、その行にある「編集」ボタンか「EdbClient」ボタンをクリックしてください。「編集」ボタンをクリックした場合、「EDB 閲覧画面*2」での該当授業科目の編集画面がウェブブラウザで開きます。「EdbClient」ボタンをクリックした場合は、該当授業科目を EdbClient*3 で開くためのファイルがダウンロードされます（パソコンの設定によっては、ダウンロードされたファイルが自動的に EdbClient で開かれます）。
7. 上記で選んだいずれかの方法を使って、シラバスの内容を入力してください。
8. 「PDF」ボタンや「Web」ボタンをクリックすると、編集した科目がシラバスとして実際にどのように表示されるのかを確認することができます。「PDF」ボタンをクリックした場合、その時点でのシラバスの内容が PDF として表示されます。「Web」ボタンの場合は HTML 版シラバスが表示されますが、一時間に一度の更新のため、編集した内容がすぐに反映されているわけではありませんのでご注意ください。
9. 編集が完了したら、行右端の「確認」ボタンをクリックしてください。教務委員や事務で全体の編集完了状況の把握などに利用します。

*1 <http://studio.db.tokushima-u.ac.jp/syllabus/notice.html>

*2 ウェブブラウザ上で操作するインターフェイス。 <https://web.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/edb/browse>

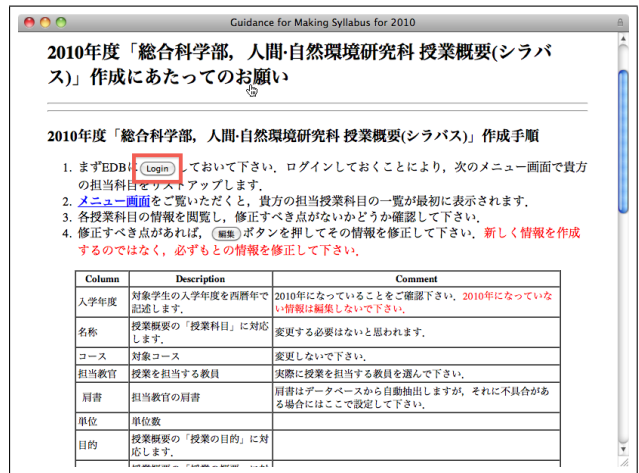
*3 パソコン上で動作する Java アプリケーション。詳しい使い方は、

<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/EDB/Java/EdbClient/html/>,

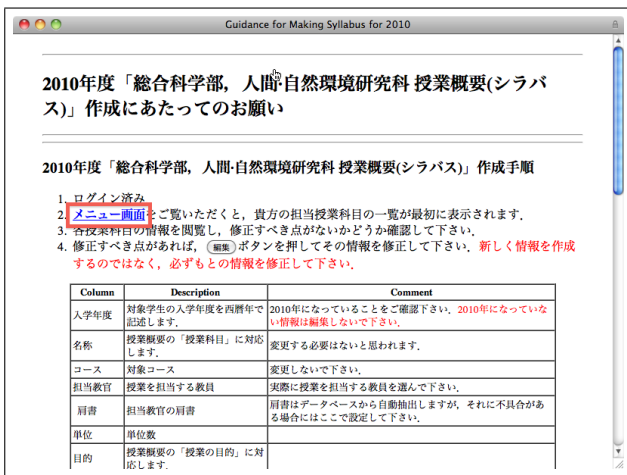
<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/EDB/Java/EdbClient/doc/> を参照



(a) 編集したい学部・教育部をクリックしてください



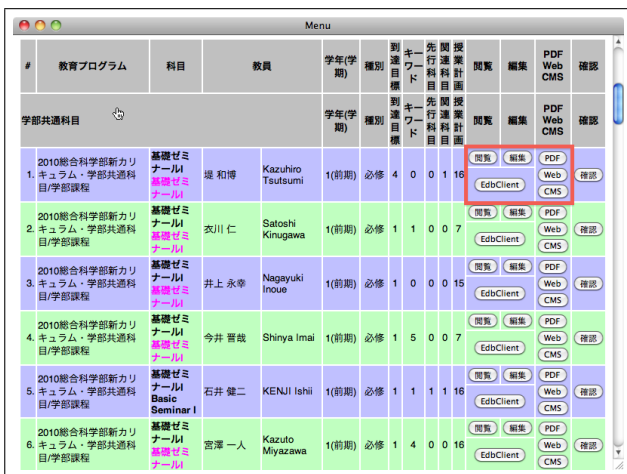
(b) EDB にログインしていない場合は「ログイン」ボタンをクリックしてください



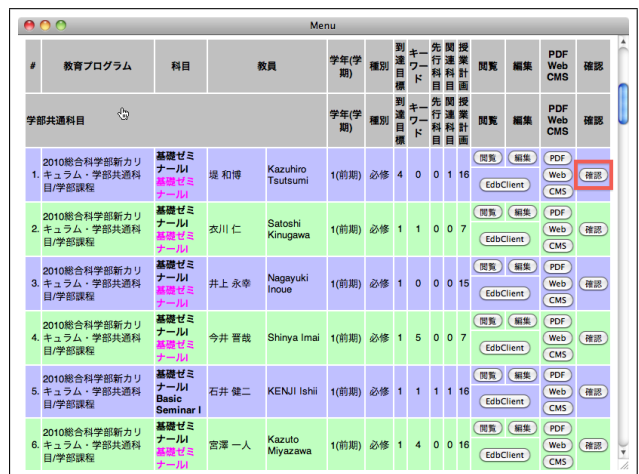
(c) EDB にログインした後、「メニュー」画面をクリックしてください



(d) 「貴方の担当授業科目」と「全ての授業科目」のリストが表示されます



(e) 編集したい科目の行の右側にあるボタンより、情報の閲覧・編集を行ってください



(f) 編集が完了したら、右端の「確認」ボタンをクリックしてください

図1 シラバス入力の流れ

3 EdbClient を用いたシラバス編集の簡単な流れ

EdbClient を用いたシラバス編集の簡単な流れは以下のようになります*4 (図 2)。

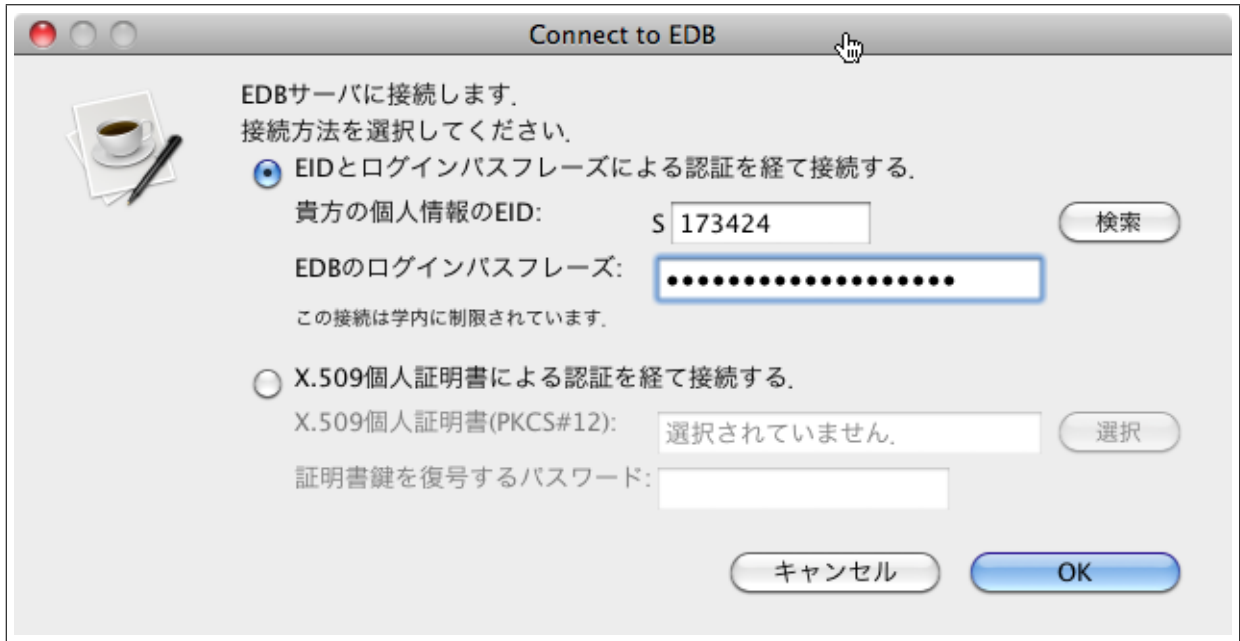
1. EdbClient を Java アプリケーションです。EdbClient を使用するには、あらかじめ JRE (Java Runtime Environment) をインストールしてください。JRE のインストール方法は「[EDB/FAQ - JRE のインストール方法を教えてください*5](#)」を参照してください。
2. シラバス入力メニューページから編集したい授業科目を決め、その行にある「EdbClient」ボタンをクリックします。
3. 「EdbCL.inlp」というファイルがダウンロードされます。ダウンロードされたファイルをダブルクリックすると EdbClient が起動します。パソコンの環境によっては、ダウンロードが終了したときに自動的にファイルが開かれ、EdbClient が起動します。
4. EdbClient を使用するには EDB にログインする必要があります。EdbClient が起動すると「Connect to EDB」というダイアログが表示されるので「貴方の個人情報の EID」欄に自分の EID、「EDB のログインパスワード」欄に EDB のログインパスワードを入力してログインしてください。
5. ログインに成功すると幾つかのウィンドウと共に、選択した授業科目の「授業概要」情報ウィンドウが開きます。
6. 「授業概要」情報ウィンドウの背景色は初めは白色です。この状態は閲覧モードを表しており、このままでは編集作業は行えません。ウィンドウの上部、メニューバー左端の「情報 (EID=xxxxxx)*6」メニューをクリックして、メニュー項目から「編集開始」をクリックしてください。ウィンドウの背景色が緑色になり編集モードへ移行します。
7. 情報に何らかの変更を加えると、ウィンドウの背景色がピンク色に変わります。編集を終えたら「情報 (EID=xxxxxx)」メニューから「編集終了」をクリックしてください。情報に変更が加えられている場合、「編集終了」というダイアログで「編集中のデータは修正されています。データベースに編集結果を登録しますか?」と表示されるので、目的に応じて返答のボタンをクリックしてください。「情報 (EID=xxxxxx)」メニューの「保存」は編集中の状態をお手元のパソコン上に保存しておく機能であり、「保存」によって変更が EDB に登録されるわけではありません。

*4 詳しい使い方は、

<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/EDB/Java/EdbClient/html/>,
<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/EDB/Java/EdbClient/doc/> を参照

*5 <http://faq.db.tokushima-u.ac.jp/index.php?action=artikel&cat=4&id=10&artlang=ja>

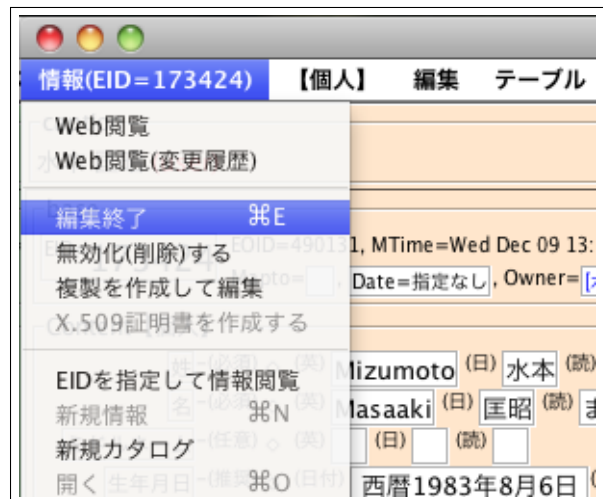
*6 xxxxxxx は六桁の整数



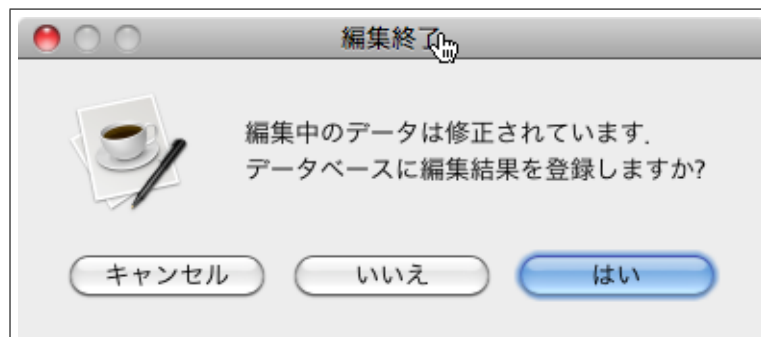
(a) 「貴方の個人情報 EID」欄に自分の EID, 「EID のログインパスフレーズ」欄にログインパスフレーズを入力してください



(b) 編集を始めるときは「情報」メニューの「編集開始」項目をクリックしてください



(c) 編集を終えるときは「情報」メニューの「編集終了」項目をクリックしてください



(d) 情報に変更があった場合は、その変更を EDB に登録するかどうかのダイアログが出ます

図2 EdbClient を用いた編集の流れ (使用中の OS によって、ボタンの文字や配置に差があります)

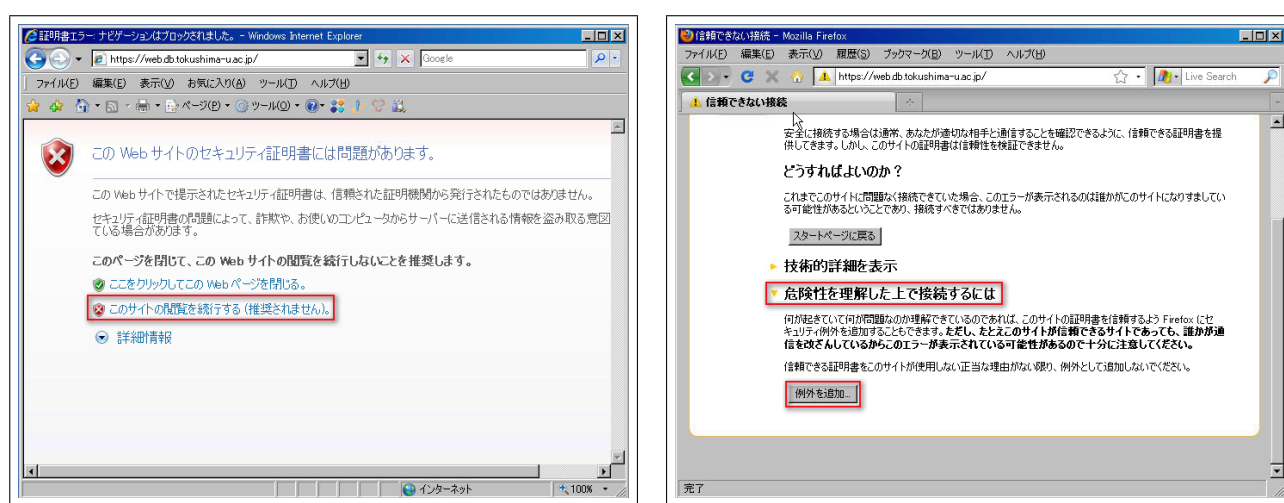
4 よくある質問

4.1 EDB へアクセスすると「証明書エラー」「信頼できない接続」等の警告ページが表示される

ご使用中のパソコンの環境によっては、EDB 関係のウェブサイトへアクセスしたときに「証明書エラー」「信頼できない接続」といった画面の警告ページが表示される場合があります。このような画面が表示された場合は、ご使用中のウェブブラウザに合わせて、以下の操作を行ってください（図 3）。

■Internet Explorer 「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）」をクリックしてください。この操作により、一時的に EDB へのアクセスが可能となります。

■Firefox 「危険性を理解した上で接続するには」をクリックした後に表示される「例外を追加…」をクリックしてください。「セキュリティ例外の追加」ダイアログが表示されるので「セキュリティ例外を承認」をクリックしてください。



(a) Internet Explorer

(b) Firefox

図 3 警告ページへの対処

このような警告ページが表示されないようにするには、「EDB/FAQ - ルート証明書をインストールするにはどうすれば良いですか？ *7」を参照してください。この情報は「EDB/FAQ*8」のトップページにある検索欄から「ルート証明書」等の語句で検索できます。

4.2 担当の科目が「貴方の担当授業科目」に表示されない

「貴方の担当授業科目」に表示されるのは、「担当教員」としてユーザが登録されているものです。授業科目の中には「〇〇学科教員」等が担当教員として登録されているものがあり、そのような授業科目は「貴方の担当授業科目」には表示されません。

また、学外の非常勤講師等が担当教員となっている授業科目で、シラバスの内容を代理で入力しなければならないときも、その授業科目は「貴方の担当授業科目」には表示されていない場合があります。

これらの場合は、「全ての授業科目」から該当の授業科目を探してください。

*7 <http://faq.db.tokushima-u.ac.jp/index.php?action=artikel&cat=1&id=25&artlang=ja>

*8 <http://faq.db.tokushima-u.ac.jp/index.php>

4.3 EdbClient で編集したい項目が表示されない（「題目」等）

全学共通教育等の授業科目では、場合によっては授業科目の「題目」を編集することもあります。EdbClient で授業科目を編集する際、初期画面では「題目」の項目が表示されていません。これは「題目」項目に限らず、ある項目の子要素となっている項目^{*9}は、EdbClient の編集画面では初期状態では表示されていません。

このような場合、親項目の項目名の右側に表示されている▶（右向き黒三角形）アイコンをクリックしてください。アイコンが▼（下向き黒三角形）に変わり、子要素となっている項目が表示されます（図4参照）。

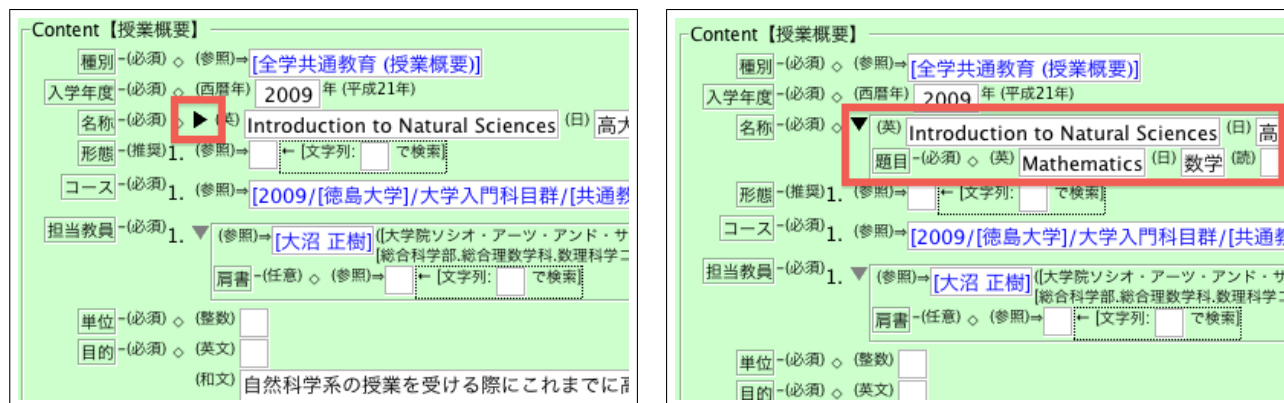


図4 子要素項目の展開

4.4 「確認」ボタンを押しても画面に変化が起こらない

「確認」ボタンをクリックするとポップアップウィンドウが開き「確認マークを入れました」と表示されますので、ポップアップウィンドウはそのまま閉じてください。元のページが再読み込み（更新）され、該当科目の背景色が青色に、「確認」ボタンが「取消」ボタンに変わります。画面に変化がない場合、一度ページを手動で再読み込みしてみてください。

誤って「確認」ボタンを押してしまった場合は、「取消」ボタンをクリックすると元の状態に戻ります。

^{*9} 「題目」項目は「名称」項目の子要素、「オフィスアワー」項目は「連絡先」項目の子要素など